

平成 29 年度 学校評価 学生との懇談会

富士吉田市立看護専門学校
自己点検・自己評価委員会

1.目的

本懇談会は学校評価の一環として、学則 32 条“自己点検及び評価”に基づき、学校における教育活動の状況について、自ら点検及び自己評価を行うために開催し、今後の学校運営に活かすことを目的とする。

2.日時

平成 30 年 2 月 2 日（金）15：00～16：30

3.参加者

1) 教職員

樫本校長、中田副校長、庶務課大石課長、庶務課奥脇課長補佐、渡邊なおみ科長、渡邊貴子実習調整者

2) 学生代表

①学生自治会代表 3 名

②学年代表：1 学年 2 名、2 学年 2 名、3 学年 2 名

3) 運営

司会：瀧口 書記：佐藤 （自己点検・自己評価委員）

4.懇談会までの状況

平成 29 年 12 月に全学生を対象に学校満足度・学生実態調査を実施。平成 30 年 1 月に調査結果をまとめ、学生からの意見、要望について庶務課、看護科からの解答を検討した。この内容をもつての懇談会とした。

5. 懇談会プログラム

- ① はじめのことば（委員）
- ② 校長挨拶
- ③ 懇談会の目的・方法の確認（委員）
- ④ 学生満足度調査の結果・評価理由（委員）
- ⑤ より良い学校にするための学校の取り組み
（庶務課課長、看護科科长）
- ⑥ より良い学校にするための学生の取り組み
（各学生代表）
- ⑦ 議題
- ⑧ 副校長挨拶
- ⑨ おわりのことば（委員）

6.懇談会実施状況

1) 2017年度学生満足度調査の評価理由に関する回答

<庶務課>

「学校生活全般に関すること」：開校時間 等

「室内温度・乾燥に関すること」：空調管理 等

「奨学金に関すること」

「駐車場に関すること」

「売店に関すること」

「図書室に関すること」

「教材に関すること」

<看護科>

「時間割に関すること」

「成績・テストに関すること」

「学習支援・教員の対応に関すること」

「実習・実習指導体制に関すること」

2) 学生からの意見 ※調査結果の評価理由については平成 29 年度学生満足度調査を参照のこと。

「施設・設備に関すること」

「駐車場に関すること」

「図書室の活用に関すること」

「時間割・カリキュラムに関すること」

上記の内容について、各担当部署（庶務課、看護科）から回答があり協議が行われた。

※昨年度

3) より良い学校にするための学生の取り組み

「ボランティアへの参加」

「施設・設備の使用法の工夫」

「学校行事への積極的な参加」

「節電・節水などの省エネ活動の励行」

「他学年との情報（学習など）交換」 等

本年度の満足度調査と学生自治会および、各クラス内での話し合いにより出た意見が、懇談会の場でより具体的な内容となった。

⇒「ボランティアへの参加」 → 参加者の把握と個別的な呼びかけ

⇒「施設・設備の使用法の工夫」 → ペットボトルの処理方法、ゴミ箱の設置

上記の内容について、学生代表からも具体的な意見があり、学生も“より良い学校づくり”について考える機会となった。

*昨年からの改善内容について

⇒学内の wi-fi を整備した。

⇒売店の継続。

→調べ物の際に役に立っている。

→欲しいものを伝えると対応してくれた。

4) その他の議題

特になし。

7.学生との懇談会を終えて

昨年に引き続き、2回目の懇談会を開催できた。平成21年から9年間行っている“学生満足度・実態調査”に今年度は「より良い学校づくりのためにあなたが協力できること」として学生自身が学校のために何が出来るのか、を自由記載としてアンケート集計した。学生からは“様々な工夫”や“学習に望む姿勢”、“友人との関係”等、多岐にわたる記載があり、学生自治会や各クラスでの「より良い学校」づくりについて考える機会となった。

懇談会の結びに榎本校長から学生代表に「どこの学校を卒業して来たの？と聞かれた時に当校の出身だと誇りを持って答えられるようにすることが、より良い学校づくりに繋がる」との挨拶があった。

より良い学校づくりは学校を構成する“人”がそれぞれ出来ることを考えていくことが、重要であり、主体的に考え、行動できる機会としても懇談会を続けていきたい。